

## 第一声で共産党攻撃

# 自民・宮沢前経産大臣も共産党に危機感

6月22日、自民党の宮沢洋一広島選挙区候補(前経産大臣)は、広島市内で行われた自身の出発式で、「日本共産党綱領は『生産手段の社会化』で工場や会社を国有化している、自分たちとは相いれない。政権を渡してはならない」と共産党の綱領を攻撃しました。

宮沢氏の発言は共産党の綱領をねじ曲げた卑劣な攻撃であり、それだけ野党共闘と共産党に危機感を持っていることのあらわれです。

.....  
「日本共産党の綱領」より

- 「主要な生産手段の所有・管理・運営を社会の手に移す」ことであり、「社会化の対象となるのは生産手段だけで、生活手段については、この社会のあらゆる段階を通じて、私有財産が保障される」
- 「生産手段の社会化は、その所有・管理・運営が、情勢と条件に応じて多様な形態をとりうるものであり、日本社会にふさわしい独自の形態の探究が重要であるが、生産者が主役という社会主義の原則を踏みはずしてはならない」
- 「国有化」や「集団化」の看板で、生産者を抑圧する官僚専制の体制をつくりあげた旧ソ連の誤りは、絶対に再現させてはならない」

以上